

4-15

庶発第743号 昭和32年10月8日

科学技術庁長官 正力 松太郎 殿

日本学術会議会長 茅 誠 司

地方における研究公務員に対する研究職俸給表の作成について(要望)

標記のことについて、本会議第25回総会の議により、下記のとおり要望します。

記

本会議では、科学振興の観点から、かねてより科学者の待遇問題について深い関心をよせてきた。とくに、本会議科学者の待遇問題委員会にあてて、地方における研究機関等から、研究職の設置・研究職俸給表の作成について多数の要望が提出されている。

すでに政府においては、国家公務員の給与制度の改正にあたり、国立の研究機関において研究に従事する公務員に対して、新たに研究職を設け、研究職俸給表を作成する措置を講じた。ついては、地方における研究公務員にも、研究職俸給表を設け、科学技術者が優遇されることが望ましいから、その実現方について配慮されるよう要望する。

4-16

庶発第745号 昭和32年10月8日

科学技術庁長官 正力 松太郎 殿

日本学術会議会長 茅 誠 司

第2回原子力平和利用国際会議について(要望)

標記のことについて、本会議第25回総会の議により、下記のとおり要望します。

記

昭和33年9月ジュネーブで開催される第2回原子力平和利用国際会議は、世界の原子力平和利用の歴史において画期的な意義をもつであろうと予想される。政府は、この会議の重要性を認め、速かに十分な準備体制を整え、わが国が積極的役割を果すことができるよう取計らわれるとともに、この会議の成果が、わが国における原子力研究開発の長期計画の中に正しくみ入れられるよう考慮されたい。

なお、この会議が学術的討論を主としている点にかんがみ、準備を進められる際には、本会議の意見を十分尊重されるようとくに要望する。

4-17

庶発第794号 昭和32年10月28日

科学技術庁長官 正力 松太郎 殿

日本学術会議会長 茅 誠 司

研究に従事する公務員の俸給表の適用について(要望)

標記のことについて、本会議第134回運営審議会の議を経て、下記のとおり要望します。

記

政府は、さきに公務員制度の給与改正にあたり、研究に従事する公務員については、とくにこれらの職員を優遇するため研究職の職種を新たに設け、その俸給表を作成した。その際、本会議では、研

究職俸給表の適用について、これら研究に従事する公務員が優遇されるよう政府に要望した。

しかるにその後俸給表の適用の実情をみると、その運用に際して、一般行政職の公務員との間の不当な差別待遇の結果である従前の給与水準をそのまま移行して機械的な格付が行なわれた。その結果、これら研究に従事する公務員の待遇改善という本会議のかねてからの主旨が全く活かされていないように考えられる。

よつて、政府においては、科学技術の振興上、これらの研究者が優遇されるよう試験研究機関に従事する研究者の格付については適切なる改訂をされるよう要望する。

4-18

庶発第880号 昭和32年12月12日

内閣官房長官 殿

日本学会議会議長 茅 誠 司

学術交流について(要望)

今春、中華人民共和国を訪問した学者の数人が、帰国後、内閣調査室から多少とも当人の意にそわない点にいたるまで質問され、ちょう報行為に利用されたとの感をいだかせるにいたつたことはまことに遺憾であります。

このような事態は、今後の純粋な学術交流のうえに支障をきたすおそれがありますので、将来かかる事例が再びおこることのないよう、細心の注意を払われることを要望します。

4-19

庶発第894号 昭和32年12月23日

通商産業事務次官 上野幸七 殿

日本学会議会議長 茅 誠 司

計量法中の計量単位の新設および追加について(申入)

貴省においては、現行計量法中の一部改正を企図せられ、目下御検討中のよしであります。その改正にあつては、下記のような計量単位の新設および追加を行なうことが適当と考えられますので、本会議第136回運営審議会の議に基づき、ここに申入をいたします。

記

1. エネルギーの計量単位の新設

エネルギーの計量単位は、ジュール、キロワット時、キログラムメートルおよびキロカロリーとする。

ジュールは、1ジュールの仕事に相当するエネルギーをいう。

キロワット時は、1キロワット時の仕事に相当するエネルギーをいう。

キログラムメートルは、1キログラムメートルの仕事に相当するエネルギーをいう。

キロカロリーは、1キロカロリーの熱量に相当するエネルギーをいう。

2. エネルギーの補助計量単位の新設

エネルギーの補助計量単位を次のとおりとする。